

はじめに

下野市教育研究所長 池澤 勤

下野市教育研究所では、学校教育の向上・充実を目指し、4事業（調査研究、研修、教育相談・適応支援、資料収集・広報）を展開して参りました。市内12の小学校と4つの中学校の御協力のもと、各研究部及び各校からの研究報告がまとまり、今年度も「研究集録 第11号」を刊行することができました。

本集録では、各研究部から「小中一貫教育研究」「学校図書館推進研究」「体力向上研究」「道徳教育研究」「情報教育研究」「特別支援教育推進研究」「英語教育推進研究」について、調査研究を行った成果や課題をまとめております。小中一貫教育は、実践研究1年目の年であり、各中学校区における「目指す児童生徒像」が設定されました。2019年度の開始に向けてさらに研究を積み重ねていただきたいと思います。

また、各校からの研究報告として、全小中学校の学校課題の研究実践についての概要を掲載いたしました。各校の実態から児童生徒に身に付けさせたい力を明確にし、課題解決に向けた研究に一人一人の教職員が携わっていただけたことを確信しております。

さらに、S&Uコラボ事業（下野市と宇都宮大との連携研修事業）による授業研究会、とちぎ学力向上推進事業（とちぎっ子学力アッププロジェクト）による学力向上推進リーダー配置事業やとちぎっ子学力向上応援団派遣事業と連携し、各校独自の研究も進んでいます。各校がPDCAサイクルを活用し、充実した活動がなされたことを再確認いたしました。

先生方におかれましては、本研究集録を、自校の研究実践の振り返りとしてだけでなく、他校の研究の取組や成果から学ぶとともに、各校において次年度の授業改善や研究推進に大いに役立てていただきたいと思います。

市教育研究所といたしましても、本年度の事業を振り返り、次年度も学校や地域とより強く連携して、下野市の学校教育の充実に寄与できるように努めて参りますので、今後とも御協力・御支援をよろしくお願いいたします。

結びになりますが、研究集録の作成に際しまして、調査研究や実践、そして執筆編集に当たられた関係者の御尽力・御協力に対し、心から感謝を申し上げます。

平成30年3月